

九州体育・保健体育ネットワーク研究会 2015 ファイナル in 福岡

－ 九州から日本、そしてアジアへ ～学校体育の充実に向けて～ －

1 目的

九州各県の体育科・保健体育科教育に関わる小中高の学校関係者、教育委員会関係者、大学関係者によって構成される有志が、新学習指導要領への理解、体育学習や保健学習に関する授業力の向上、教育課程編成等体育科教育の充実に向けて、語り合う機会とし、九州から全国へ実践ベースの情報を発信する。

2 主催／共催／後援

〔主催〕九州体育・保健体育ネットワーク研究会、北海道・東北ネットワーク研究会
北信越ネットワーク研究会

〔共催〕鹿屋体育大学、宮崎大学、熊本大学、福岡教育大学、佐賀大学、九州共立大学
鹿児島大学

〔後援〕大分県教育委員会、沖縄県教育委員会、鹿児島県教育委員会、熊本県教育委員会
長崎県教育委員会、福岡県教育委員会、宮崎県教育委員会、佐賀県教育委員会

3 期 日

平成27年2月21日（土） 10:30～17:00（受付：10:00～）

4 場 所

福岡県立スポーツ科学情報センター（アクション福岡）

住所 〒812-0852 福岡市博多区東平尾公園2-1-4

TEL 092-611-1717

5 内 容

10:00 受付

10:30 開会

（代表挨拶）鹿屋体育大学 佐藤 豊

（来賓挨拶）福岡体育研究所 寺崎 雅巳 所長

第1部「全国から学ぶ・九州から発信する～学校体育の充実に向けて～」

10:40～11:40 「授業づくりのヒント」 発表 15分×質疑 5分

① 全国体力・運動能力、運動習慣等調査から見える学校体育の充実
国立教育政策研究所・文部科学省 末永 祐介

② 2020年に向けたアンチドーピング教材の可能性
JADA専門官 山本真由美

③ 鹿児島県の取組 2014
鹿児島県総合体育センター指導課研修係長 伊地知 裕

11:40～11:50 事務連絡（総会・会計報告）

11:50～12:40 昼食・休憩

12:40~14:00 「ポスターセッション」大学、学校、行政の情報を共有する

- 主体的に運動に取り組む生徒を育てる保健体育科学習指導 ～ICTを活用した活動を通して～
福岡県体育研究所 長期派遣研修員（福岡県立糸島高等学校） 横井 孝史
- 陸上走り幅跳びの教材開発＝下野式体育の新たな挑戦
春日市立春日東中学校 下野 六太
- 挑戦！タブレットを活用した「体づくり運動」の授業はこんな感じ
福岡県立育徳館中学校 藤田 弘美
- 「タブレットを活用した体づくり運動」の定時制高校での実践例
愛知県立一宮高等学校定時制課程 教諭 後藤 晃伸
- 思考力・判断力を育む「H 体育理論」の学習の工夫
ー参加型学習とワークシートの活用を通してー
沖縄県立読谷高等学校 齋藤 綾
- 生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成をめざして
～ニュージーランドの学校体育・スポーツの推進に関する取組から考えたこと～
広島県教育委員会事務局教育部スポーツ振興課学校体育係指導主事 清田 美紀
- 跳び箱運動におけるICT 利活用教育の有効性について
神崎市立神崎小学校 高柳 元、佐賀大学 堤 公一
- 学力向上に体育としてどう取り組むか？～伊万里市立伊万里中学校の取組みより～
伊万里市立伊万里中学校 福井 宏和
- 「自分事の問い」をもって運動に取り組む「跳び箱運動」の授業づくり
鹿児島市立山下小学校 池水 大介
- 「投げる」動きを高める低・中学年の体育科学習指導
～ゲーム領域における教材の開発を通して～
福岡県体育研究所 長期派遣研修員（八女市立上妻小学校） 宮原 健次
- 生涯スポーツの実現に向けて「する・見る・支える」スポーツのかかわり方を実現する体育授業を目指して
山形県立山形中央高等学校 佐藤 若
- 幼小連携を意識した体育科指導の一試み 遊びからつくる第2学年「鬼遊び」の授業実践
宮城県総合教育センター教職研修班 主任主査 佐々木 美奈子
- 体育専科教員の活用と一校一実践による体力向上
大分県教育庁 体育保健課 学校体育班 指導主事兼主幹（総括） 亀井 真也
- 小学校体育主任ハンドブックの作成と活用
長崎県教育庁体育保健課 学校体育班 指導主事 中尾 善蔵
- 体力の向上を目指した実践
山鹿市立鹿北中学校 那須 法寿
- 動くイメージを明確にして動きを高めさせる学習指導
鹿児島大学教育学部附属小学校 福元 健一郎、須藤 信司、當房 省吾、池田 克則
- スポーツ系学部学生の体罰の経験および体罰に対する意識の調査
九州共立大学スポーツ学部 四方田 健二、野田 耕、小屋 菜穂子、久保田 もか
- 発達段階に応じた球技教材の系統性 ーゴール型教材化のための再解釈ー
岩手大学 清水 将
- 「子どものからだのおかしさ」についての高校生の自覚と教師の実感
九州共立大学スポーツ学部 内田 幹一（学生）、野田 耕
- 体力向上と体ほぐしの運動を融合させた「体づくり運動」の教材検討
ー大学での授業実践をもとにー
新潟大学教育学部 檜皮 貴子

- 攻防の醍醐味を味わわせる剣道の戦術学習に関する実践研究
一簡易竹刀の作成・活用を通してー
福岡教育大学 本多 壮太郎
- 中学校連携模擬授業を通じたアクティブ・ラーニング型授業における実践力育成の提案
鹿屋体育大学 佐藤 豊、梶 ちか子
- 体育の授業を通じた社会性の育成に関する研究
鹿屋体育大学 平野 征哉（学生）
- 協同学習を取り入れた保健体育授業（体育分野）の有効性の検討
鹿屋体育大学 内田 しずか（学生）
- アダプテッドスポーツを活用した体育授業の検討ーフロアバレーボールの実践を通じてー
鹿屋体育大学 酒井 まさえ（学生）
- 運動嫌い、運動が苦手な生徒に対する体育アプローチに関する研究
鹿屋体育大学 川畑 茉都佳（学生）
- 中学校の剣道授業における指導方法の検討
ー初めての剣道指導のための単元計画及び指導マニュアルの作成を通してー
鹿屋体育大学 中村 誠二郎（学生）
- 体ほぐしの運動が生徒間の人間関係の改善に及ぼす影響についてのー考察
鹿屋体育大学 猪狩 清（学生）
- 知の学習を取り入れた長距離走の授業が生徒に及ぼす影響に関するー考察
鹿屋体育大学 今村 航大（学生）

14:15~16:30

第2部「保健体育授業づくりシンポジウム」

世界の体育の危機を共有する 「アジアの学習指導要領の変化と日本の課題」

パネリスト

韓国	JeongAe You(ユージョンエ)	韓国中央大学	教授
台湾	Yuh-Chih Chen(陳玉枝)	国立台東大学	教授
日本	森 良一	国立教育政策研究所	教育課程調査官

コーディネーター

佐藤 豊 鹿屋体育大学スポーツ人文・応用社会科学系
通訳 吉野聡(茨城大学)、本多壮太郎 (福岡教育大学)

指定討論者

青木 哲也(北九州市立企救丘小学校 校長)

16:30 全体意見交換・アンケート記入等

17:00 終了

18:30 情報交換会(福岡市内)

6 参加費

1,000円：ラウンド参加者ですでに会費納入者は除きます。

7 参加申込

下記アドレスを直接アドレスバーに打ち込み、HPへアクセスし送信ください。
なお、2月10日(月)までにお申し込みください。(携帯からのアクセスも可)

<http://eap.pref.nagasaki.lg.jp/kv2/?42000C00001776dzl>

携帯からの参加

申込はこちらから

申し込み画面にジャンプします。

*ポスター発表をしていただける方は、要項原稿の作成がありますので、1月31日(土)までに原稿を送信してください。



8 その他

- ◆ 宿泊については、各自手配をお願いします。
- ◆ 情報交換会は福岡市内で実施します。(5,000円程度)
なお、準備の関係上、会議と情報交換会を併せて参加の有無をお知らせください。
- ◆ 実践発表を希望される方は、1月31日(土)までに申し込みサイトからエントリーをしてください。
学校現場実践、大学生等ポスターセッションにおける発表が可能です。学会ではありませんので、既発表のものも可能です。研究や実践の成果を広くご発表下さい。

9 問合せ/連絡先

<http://eap.pref.nagasaki.lg.jp/kv2/?42000C00001776dzl>

ポスター発表希望の方は、備考欄に、「ポスター発表希望(発表タイトル、氏名)」をご記入下さい。

10 会場案内



バス

JR博多駅 バスターミナル14番乗り場から
37, 39, 39-Bのバス・・・約20分
(月隈団地経由) (アクション福岡前下車)
福岡空港 地下鉄4番出口 福岡空港前バス停
から37, 38, 39のバス・・・約7分

車

JR博多駅から・・・約20分
都市高速道路利用の場合
福岡方面から：月隈ランプ出口を降りて・・・
約6分
太宰府方面から：金の隈ランプ出口を降りて・・・
約9分